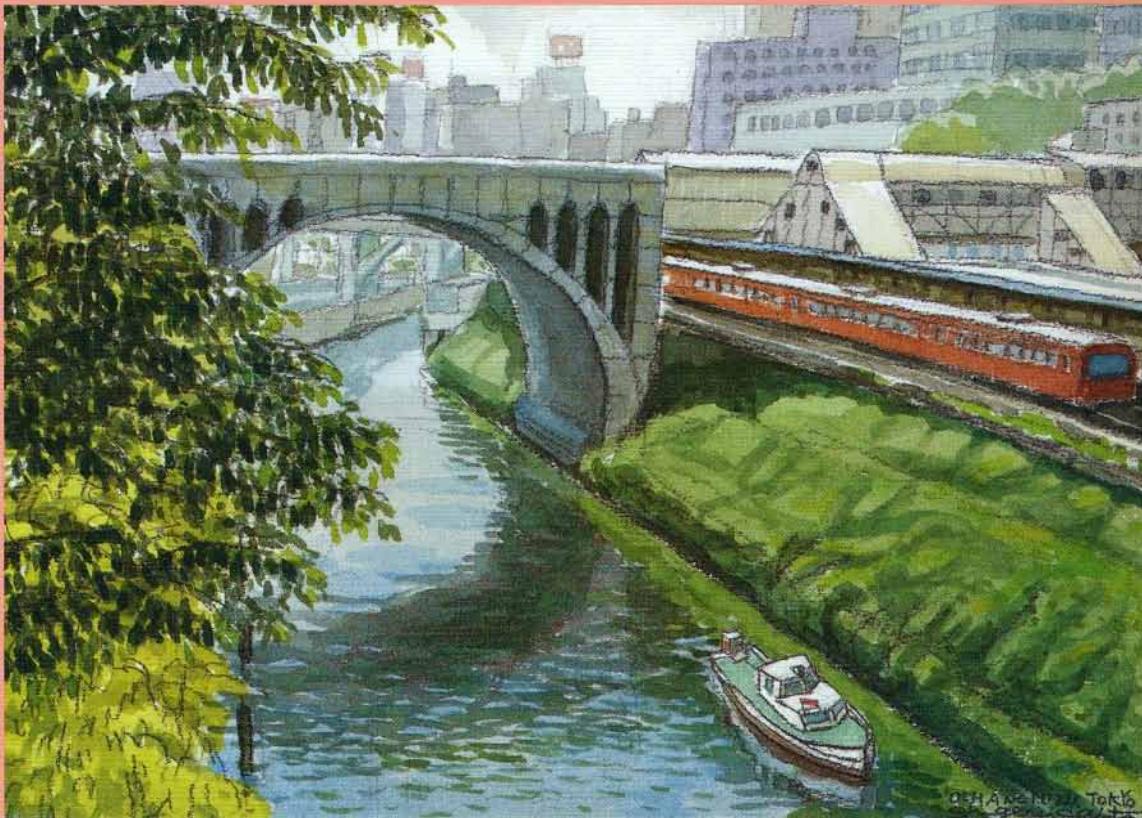


# きよみの語　あいたの語



社団  
法人 日本作詩家協会年刊詩謡集

1993年版

# きよしの詩　あいだの詩

社団法人 日本作詩家協会年刊詩謡集  
1993年版

# 序 文

会長 石本 美由起

この歌謡詩集は

作品のお花畠である

彩、とりどりの作品があり

その花々が、今年も競い咲いて美しい……

あなたは、どの彩が、お好きですか……

それぞれの好みによってその価値、評価は違うと思うが、一人でも多くの人に、作品の良さを印象づけることが大切であろう。

作曲家の方達にも、ページをめくつて頂き、

気に入った作品には

どんどん、附曲して頂きたいと思う。

どの花にも、命があり、心があり、夢がある。

誰からも愛される花が

見事に咲き香ることを願う。

平成五年十二月

# 目 次

〈氏名 五十音順〉

序 文 石本 美由起 一

きずな橋	あいたかし	一八
彼岸 蟬	青木 創	一九
月夜野がらす	青木 三郎	二〇
金平 糖	秋田 泰治	二一
一竹辻が花	秋葉 千寿子	二二
さよなら列車	秋山 哲	二三
僕のお嫁に	浅見 竹穂	二四
あるさとだんだん遠くなる	浅沼 久美子	二五
女の夜明川	飛鳥井 芳朗	二六
兄 弟	元毛 恵	二七
おもいやり	荒尾 三郎	二八
言いわけ	綾部 孝男	二九
ラブ・田吾作	荒川 利夫	三〇
悲しみのゴジラ	荒木 とよひさ	三一
愛しいじゃないか	淡路 しのぶ	三二
お袋 資歌	飯田 敏雄	三三
忘れたころに	飯田 悠介	三四

北 転	船	飯塚義美	三五
京都恋しや		生田恵子	三六
大阪縄のれん		池浦利彦	三七
佐助稻荷		池田充男	三八
この世の荒浪		池邊意一	三九
ノスタルジア		いけやかつとし	四〇
情	愛	生駒かつゆき	四一
あゝ北海の人よ		石井鐘三郎	四二
靈峰富士		石井文生	四三
波紋		石川泰久	四四
上高地		石黒忠	四五
心の便箋		石本美由起	四五
愛のゆくえ		いそのあきを	四六
勇払慕情		伊藤公一	四七
夢の岸		伊藤悟	四八
渚にて		伊藤上	四九
行乞流転		稻葉爽秋	五〇
海峡哀歌		のぼる	五一
冬牡丹		今井融	五一
なにわ艶ざんげ		井村幸男	五五
ごめんなさいお嬢さん		伊予圭相	五六
わたしのハートはなみだ色		吾筆	五六
筆やしぐれ		岩瀬ひろし	五六
カプリ島探險記		毛田道之輔	五六

終わった筈ね	岩本京子	六〇
しばられ地蔵	宇佐美華	六一
月しづく恋泪	碓氷夕焼	六二
聴いてよあんた	内山和樹	六三
妻恋坂	宇都木正次	六四
あやとり橋	宇都宮美代	六五
人生溶鉱炉	浦田常治	六六
網走泪橋	えいたかこ	六七
たのむよお前	海老澤孝一	六八
去つた女へ	大崎二三子	六九
山唄	大澤陽央	七〇
百姓平佐	大橋敏雄	七一
雪国暮色	大野ひろみつ	七二
おもい川	大橋哲郎	七三
兄弟酒	大竹敏雄	七四
菜穂子	明	七五
とまり木挽歌	大橋哲郎	七六
女のれん	大前裕子	七七
国東半島ひとり旅	岡田和子	七八
命みつめて	大屋詩起	七九
冬行列	おかべしづこ	八〇
男は太鼓になれ	小川ゆき	八一
愛なんて恋なんて	おぎの舟人	八二
裏切りのブルース	落合秀男	八三
	おちとしこ	八四

望郷譜

小野都久

小野都久

久津加佐

久

逝く秋の里

小野

都久

久

あんずの里

おもて

やちよ

八

俺らの人生

小山良

良

八

残冬わかれ唄

甲斐新

新

九

ゆうがお

柿沼宏

宏

九

うたた寝

かづ翼

翼

九

残り火

かつまよしえ

よしえ

九

酔い祭り

加藤市平

市平

九

瀬戸の悲恋唄

川端はじめ

はじめ

九

雨の屋台

加藤テル

テル

九

眞実

河原忠一

忠一

九

女の偲び歌

木立雄幸

雄幸

九

偲び草

北野彩

彩

九

須磨の恋風

北原いづみ

いづみ

九

旅はいいな

北村直之

直之

一〇

陶匠一代

北村直之

直之

一〇

雁供養

木下龍太郎

龍太郎

一〇

黒楠真花

木下杏

杏

一〇

はぐれ街道

木村賢司

賢司

一〇

貨物列車は人生列車

木村壮吉

壮吉

一〇

逢坂寄席囃子

國枝星志

星志

一〇

人生一番舟

黒川良人

良人

一〇

カラオケブギ

黒田すゝむ

すゝむ

一〇

男の思いやり		小池虎夫	一〇
海のエレジー		合	格
吾亦紅	こうのあゆこ	一二	二二
娘離れ	河野充伸	一三	一三
嫁に行きなはれ	古賀一弘	一四	一四
足羽川	こさか優	一五	一五
東京おしどり旅行	越野みのる	一六	
螢・恋・恋	小島高志	一七	
男の勝負	五城しげみ	一八	
奥能登情話	後藤孝吉	一九	
枯木灘	小西みちよし	二〇	
忘れる夢ね	幕切れね	こばやし克至	二二
寒	桜	小林たけし	二三
北鎌倉ひとり		小宮正人	一三
縛られ地蔵		近藤しげる	一四
花街有情		斎藤卓	一五
恋未練		酒井愛子	一六
ああ……無情		嵯川温子	二七
冬木の花		桜井康光	二六
友よ友なれば		桜本繁	二九
恋衣		佐々木哲夫	一〇
涙の言葉		佐々木安伸	三一
夫婦年輪		佐田英介	一三
男はこの世で三度泣く		佐藤邦夫	一三
悪いのは春	さとう		三四

別れのバラード	佐藤 進	一五
夫婦長寿節	佐東 たどる	一三六
女のにごり酒	佐藤としかず	一七
暁の祭典	佐藤英明	一六
鳥 篠	さとう ひでを	一九
虎 落 笛	里村 龍一	一四〇
この指とまれ	佐野 しづか	一四
今日から 心して	佐野 昌一	一四二
あなたに終りたい	佐野 文湖	一四三
片 恋 鳥	椎名 英威子	一四四
酒場の出来事	志賀 大介	一四五
除夜の鐘	篠 瑞美子	一四六
夫婦人生恋太鼓	柴田 よしかず	一四八
アルヴェデルチ・ミラノ	柴田 恒男	一四七
瀬戸内ひとり	志摩 よし子	一五〇
ふるさとの同窓会	下野 登美子	一五一
ひとりぐらし	白河 時夫	一五二
越後花	新保治平	一五三
ひとりぐらし	菅原良平	一五五
紅花情話	菅野政義	一五四
雨憂情	木きよ	一五六
カンカン虫	木昭一	一五七
幸せ探しの鬼ごっこ	木信也	一五八
北の星空	木木	一五九
細腕酒場	木木	一五九
鈴木	木木	一五九
孝	木木	一五九

日暮れ天神	二郎	鈴木信子	一六〇
独り旅	鈴木	夜詩夫	一六一
どんどん行こうよ！	須田	れい子	一六二
どんどん行こうよ！	須田	木茂樹	一六三
あんた	須田	厚子	一六三
傍にいて	妹尾	恵美子	一六四
夢色帰行	関口	義明	一六五
夏ツバキ	関沢	たしげ	一六七
夫婦ばなし	相馬	詩彦	一六八
勝負坂	曾我	幸義	一六九
川内旅情	か正美		一七〇
愛のロザリオ	高塚	俊男	一七一
あの星空に腰かけて	高田	れい子	一七二
母衣	高城	和美	一七三
南から花嫁	高田	礼子	一七四
生きるのか	高橋	たけお	一七五
生きるのか	高橋	テツ子	一七六
流水地帯	高橋	ゆきを	一七七
綾取り慕情	高畠	じゅん子	一七八
半夏生	高安	弘	一八〇
恋街道	多岐川	まさし	一八一
お酒みみずく	滝田	常晴	一八二
断崖	えいじ		一八三
ほんの少しだけさよなら	たきの		一八三
下り通勤快速	たくわん		一八四

恋の命船	竹内きよと	八五
面影ごよみ	立川かね	八六
ドキドキさせて	建石一	八七
頬杖酒場	田中砂千雄	八八
夢情	田中衆兵	八九
曾根崎情話	たなかゆきを	一九〇
愛・福寿草	田畠しげき	一九一
千年愛して	田村和男	一九二
炎歌	千葉幸雄	一九三
心の傷	司明生	一九四
男の漁場	塚谷清一	一九五
木曽の火祭り	津久井ひろし	一九六
月の山	辻伸一	一九七
哀愁の那谷寺	対馬慎一郎	一九八
花嫁と七福神	津島裕次	一九九
亡母呼ぶ娘	土川多恵	二〇〇
恋心	土屋正敬	二〇一
恋衣	つるぎまさる	二〇二
男川	照沼寛	二〇三
愛はやすらぎ	戸田富久子	二〇四
八王子ふれあい音頭	鳥羽貞子	二〇五
人妻情話	豊岡敏	二〇六
別離の宿	中西寛	二〇七
ライバル	中山邦雄	二〇八
いいなあ	中島通利	二〇九

愛のおかわり	中村晃明	二〇
別府湯の町未練町	中村美智子	二一
切なくそらう	中村要子	二二
人生夢おこし	中村よしかず	二三
いくじなし	並木ひでお	二四
土は男の宝物	中山真一	二五
大瀬崎	中山大三郎	二六
幸漁舟	中山成瀬	二七
恐山の鳩が啼いた	左千夫	二八
男の浮気に効く薬	仁井谷俊也	二九
情け舟	賛田清	三〇
夜会草	日塔貴子	三一
東京AM・PM	二本松あさひ	三二
蟬	貫井昭五	三三
冬の陽だまり	沼川淳	三四
なみだ橋	根岸利仁	三五
アカシヤ挽歌	根本昌幸	三六
妻	能勢英男	三七
郡上発あなたへ	のたきひであき	三八
夫婦歳時記“海”	野村耕三	三九
母の祈りの子守歌	萩原百合子	三〇
恋おんな	羽澤文子	三一
忍ぶ恋	はしおあきら	三二
雪んこ降る里	橋本まさる	三三
母娘屋台の灯がともる	長谷川洋	三四

ご縁でしたね	八田	満	二五五	
俾せならば	浜	晃一	二五六	
丹後・雪見酒の宿	浜岡	三郎	二七七	
こころに詩を	はら	あきら	二五六	
別れの潮どき	原	こうじ	二五九	
愛 飢 少 女	原	文彦	二四〇	
別れても好きな男	原	千秋	二四	
演歌で！花を咲かせます	晴菜	たけし	二四一	
惜	愛	平井	健	二四三
命のかぎり	平川	正以義	二四	
かたくりの花咲く里へ	平川	廣里	二四五	
出 前 人 生	廣野	多美	二四五	
掃除屋フクロウ	福澤	アイ子	二四六	
歌声があるえるようです	ふくだ	てつや	二四七	
漁 師 酒	恒	まさる	二四八	
寝 酒	藤枝	一	二五〇	
ネオン波止場夜景	藤岡	省一	二五〇	
累	藤田	秀文	二五二	
笑顔でどうぞ	藤間	哲郎	二五三	
あばれ不動	舟根	久夫	二五四	
今更泣いても	古野	哲也	二五五	
こころ 華	北条	繩	二五六	
男のロマン花	ぼく	はじめ	二五七	
嫁っこやーい	星合	節子	二五八	
神威哀歌	星川	成一	二五九	

黄色いリボン	星野哲郎	二六〇
どすこい人生	ほたる	翔
冬もみじ	堀尾五郎	二六一
ウルフ	堀尾恭子	二六三
夢待ち港	本間繁義	二六四
何も言わないで	牧野おさみ	二六五
男の出船	正木のりゆき	二六六
春の淡雪	松井由利夫	二六七
花と嵐のおんなぶし	松尾和彦	二六八
秋は渡せない	松崎暎子	二六九
海人の篝火	松平史紀	二七〇
紅葉宿	松本攝子	二七一
恋は夢風船	松平幸一	二七二
雪国恋入形	真弓田幸一	二七三
ヤンシューかもめ	万城たかし	二七三
奥の細道 船町みなど	三浦弘幸	二七四
酒挽歌	三上博司	二七五
酒場しぐれ	幹政人	二七七
いろはにほへと	美貴裕子	二七八
忍冬	水木れいじ	二七九
引佐の少年歌舞伎	水野甚太郎	二八〇
サツキマス	みづの稔	二八一
恋上戸	三谷仁史	二八二
白い雨に濡れて	南早苗	二八三
男の北斗星	みね隆	二八四

志津川の女	峰	なおき	二八五
夫婦湯の宿	峰	よしを	二八六
冬 風 鈴	宮	たけし	二八七
惚れとるさかいに	宮	てるみ	二八八
俺 の 星	宮	宮田 城 司	二八九
泣かせてあげる	宮	宮地 洋 子	二九〇
人生 男 龍	三 宅 立 美	二九一	二九一
写 し 絵	み や ケ 知 絵	二九二	二九二
面 影 の 人	宮 本 正 万	二九三	二九三
別れても恋歌	村 上 志賀子	二九四	二九四
雪 の 宿	村 上 文 恵	二九五	二九五
郷愁よされ節	紫 野 ゆ き	二九六	二九六
炭焼き権兵衛	むらの すずめ	二九七	二九七
おばあちゃんの青春	杜 室 井 隆	二九八	二九八
都會ぐらし	司 森 岡	二九九	二九九
雨 占 い	えい 美 三〇一	三〇一	三〇一
晩 鐘 の 恋	守 田 英 雄	三〇二	三〇二
夫 婦 雛	木 吾 郎	三〇三	三〇三
熱戦高校野球	矢 坂 秀 司	三〇四	三〇四
たそがれの栄町	八 代 青 樹	三〇五	三〇五
影 絵 の 女	や ま 一 央	三〇六	三〇六
みちのく育ち	山 上 路 夫	三〇七	三〇七
とり残されて	山 岸 まさし	三〇八	三〇八
佐 久 高 原	山 北 由 希 夫	三〇九	三〇九
人 生 浪 漫			

鈴 日 記	山 口 倉 雄	三一〇
ふるさとの川	山 口 純	三一
光陰遙か五十年	山 崎 有道	三二
いのちの讃歌	山 添 花 秋	三三
愛 の 鐘	山 田 孝 雄	三四
残 り 香	山 田 博 康	三五
悔 し い ねん	やまだ りゆう	三六
沈 丁 花	山 本 恵 三 子	三七
南紀白浜・恋おんな	山 元 ひろし	三八
望 鄕 月 夜	横 井 弘	三九
魅惑のハワイ	横 山 計	三〇
風 雪 月 花	吉 岡 治	三一
駅 待 恋	吉 川 満	三二
振袖 挽 歌	吉 田 純 治	三三
はい 今晚は	吉 田 よし子	三四
おしょろう舟	吉 本 歌 世	三五
茅 花	若 林 圭 子	三六
蓑 篠	若 林 澄 人	三七
怒 涛 に 勝 て	渡 渡 辺 和 於	三八
半 夏 生 の 花	渡 渡 辺 蛍 雪	三九
恋 恋 演 歌	渡 渡 辺 ひさし よし枝	三〇

題字 石本美由起  
表紙画 斎藤茂